

スクレーパ付きストレーナ

Strainer with Rotating Scraper



図1 スクレーパ付きストレーナ外観

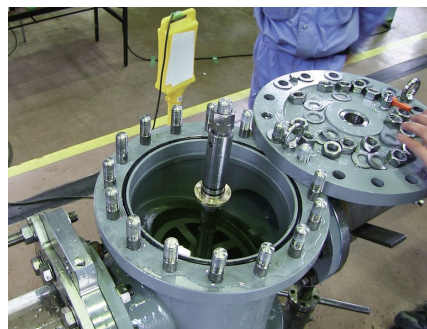


図2 ストレーナ内部

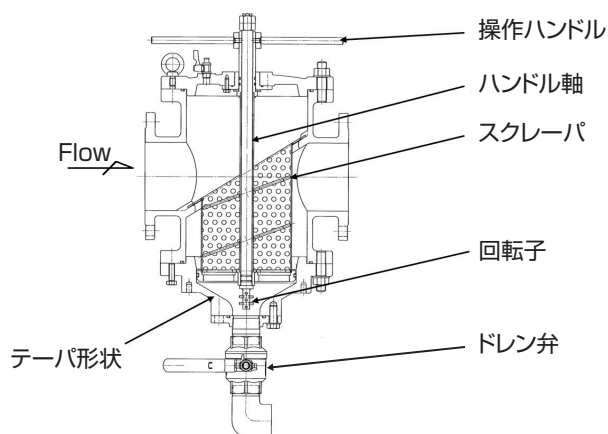


図3 スクレーパ付きストレーナの構造

1. はじめに

水利用の形態は、水道、工業用水、農業用水に大別され、それぞれの利用目的に合わせて、高い水圧を低い水圧へ減圧弁などを用いて圧力調整されています。特に農業用水には、枯れ葉や枝などの塵芥物が含まれており、減圧弁や下流側の散水設備内に堆積すると動作不良を引き起こす可能性があります。このため減圧弁の上流側にストレーナを設置して塵芥物を除去しますが、定期的にストレーナ内に溜まった塵芥物を取除かなければならず、メンテナンスに時間や労力がかかる問題がありました。そこで今回、簡単にメンテナ

ンスができる新形ストレーナ「スクレーパ付きストレーナ」を開発しましたのでここに紹介します。

2. 構造と特長

スクレーパ付きストレーナの外観を図1に、内部を図2に、そして構造を図3に示します。本製品は、操作ハンドル軸にとりつけたスクレーパを図4のように回転させることによってスクリーンに張付いた塵芥物を剥ぎ落とします。図5のように剥ぎ落とされた塵芥物および堆積した塵芥物は、排出ドレン弁を全開状態とし、回転子操作軸を回すと流動的になり、排出ドレ

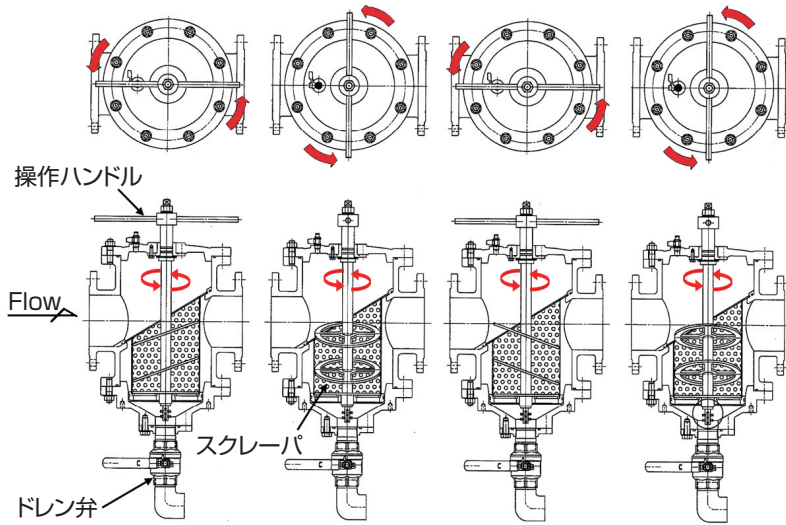


図4 スクレーパ付きストレーナの操作方法

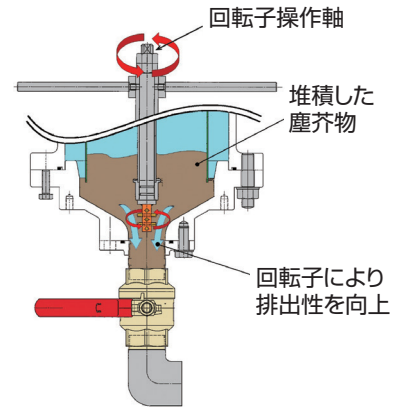


図5 堆積した塵芥物の排出



図6 フィールド試験の様子



図7 塵芥物排出の確認

ン弁を通して外部へ簡単に排出されます。

そのため、従来のストレーナのメンテナンス時に必要であった、断水、分解作業、弁室内での重いフタの運搬などの重労働が必要なくなります。

お客様お立合いのもとフィールド試験を実施し(図6)、実際の使用条件下で操作することによって、簡単に塵芥物の排出ができることを確認しました(図7)。また、ハンドル操作後に、上流側と下流側の圧力差が小さくなり、スクリーンの目詰まりを解消できる性能を有していることが確認されました。

3. おわりに

スクレーパ付きストレーナは、スクレーパによるスクリーンの目詰まり除去および堆積した塵芥物の排出を簡単に行える製品であり、日々のメンテナンスの時間、労力の軽減に貢献することができます。今後もお客様のニーズに対応できるよう製品開発に努めます。

お問合せ先：

バルブ事業部	バルブ営業本部
・大阪官需課	TEL：06-6538-7658
・東京官需課	TEL：03-3450-8521